

「トリック・オア・トリート!?!」参戦記

文責:Aki-Yoshi

この記事は、2015年10月23日から26日にかけてインターネット上で公式に開催された、「トリック・オア・トリート!?!」に参加した結果を報告するものである。前回の会誌では、「リトルマッチ」へ参戦したことを記事にした。この際、特殊なルールは自分に向いているという根拠のない自信を抱いた。そのため、「おっ、また変則ルールの大会やるんだ」となったので参戦した。「リトルマッチ」と同様にメガシンカが禁止であることに加え、「怖いとされているポケモン」のみ参加できる大会であるため、どく・あく・ゴーストタイプなど一定のタイプの数が多くなり、対策すべきポケモンをタイプ別に絞れ、対策手段が用意しやすい。このため「リトルマッチ」と比べてもやりやすい印象を受けたのが大きい。

【事前考察】

参戦可能ポケモンが「怖いというイメージのあるポケモン(アンケートで決定)」(リストは後に記載)であるため、どうしてもどく・ゴースト・あく・むしタイプが多くなっている。なお、ピカチュウも参戦できる。これ、中国とかの血したたらせてるピカチュウ着ぐるみのせいでは……。さて、このうち3タイプには、あくはゴーストに抜群、むしはあくに抜群、ゴーストはむしに等倍(……あれ?)と、3すくみ?の相性関係が成立している。そこに少数の他のタイプや、複合タイプ持ちがいくらかというのが大まかなイメージと言ってよいだろう。となると、有利なタイプがあるあく、むしから1匹ずつ選ぶのがよさそうだと考えた。これを念頭に置きつつ、前回の「リトルマッチ」で最速であるニューラを見落としてしまった反省を生かし、まずは参戦可能ポケモンのS種族値をチェック。頂点は、S種族値自体では130のクロバット。実質的には、{かそく}もちの中で最も素早いペンドラー。ペンドラーはむしタイプである。よし、とりあえずこの2匹採用決定。

今回の参戦可能ポケモンの中では、サザンドラとウルガモスが強いとされていた。まずサザンドラは今大会唯一の600属で、単純に能力値が強い。フェアリータイプが少数、またはがねタイプも少数であるため、「りゅうせいぐん」が相手に通りやすく、『こだわりスカーフ』を持たせて上から殴っていく動かし方がシンプルに強力である。このサザンドラに対して有利なウルガモスが多そうであった。何よりファイアローがいないのが最大の理由である。「ちょうのまい」からの「ねっぷう」による制圧が脅威であり、みずタイプ、いわタイプも優秀なポケモンが少ないため受けにくい。この2匹がトップメタではないかと考えられた。よって、まずは3匹目にあくタイプ枠としてサザンドラの採用を決定。強いものは利用しなきゃね。今回は、『こだわりスカーフ』を持たせて「りゅうせいぐん」で相手のサザンドラの撃墜を狙っていく型にする。相手もわかっているだろうが、それでもこの手段は必要な気がした。ゲンガーなども上を取れて楽に始末できるので強力だろう。残りはサポート枠に{いたざらごころ}持ちからヤミラミ、ドラゴン対抗枠として{いかく}を持っておりフェアリータイプのグラブル、あとは安定しているロトムから、多そうなむしタイプに強い炎ロトムを選出した。この3匹についても詳細は後述する。